Wintest Corp.

2017年7月期　決算説明会資料

Yokohama Chizai Mirai Enterprise
横浜知財みらい企業

当社は平成29年度横浜みらい企業に認定されました。

2017年9月20日

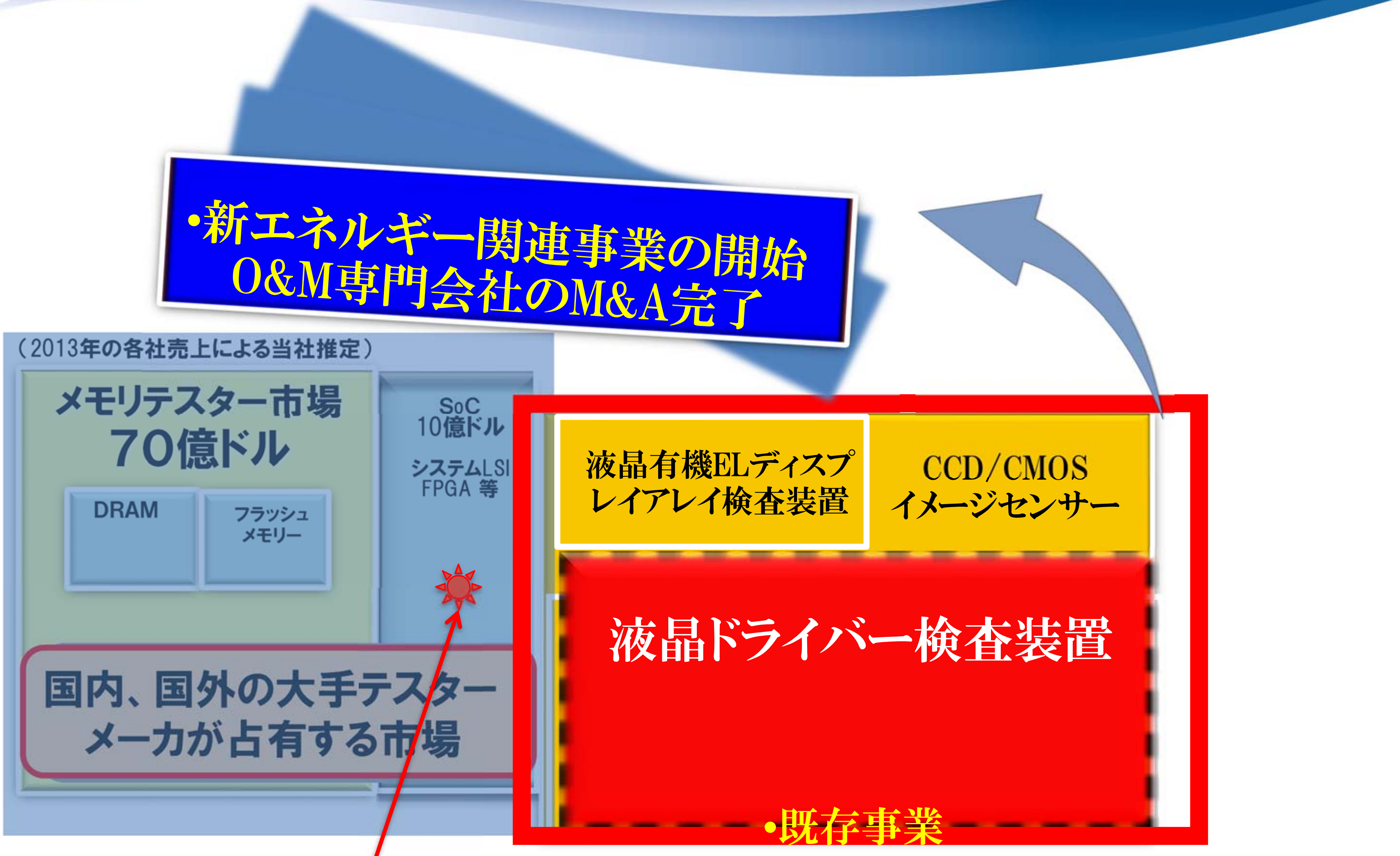
アジェンダ

Wintest Corp.
ウインテスト株式会社

- ◆ 当社の事業領域とポジション
- ◆ 2017年度 決算
- ◆ 新規事業計画

当社の事業領域とポジション

半導体検査市場と新たな事業領域



＊量産用汎用機を開発中

当社の事業領域

当社の業界におけるポジション(1/4)

新規顧客増加中

LCDドライバIC検査

（スマートフォンやテレビなど液晶ディスプレイを駆動するためのICです）

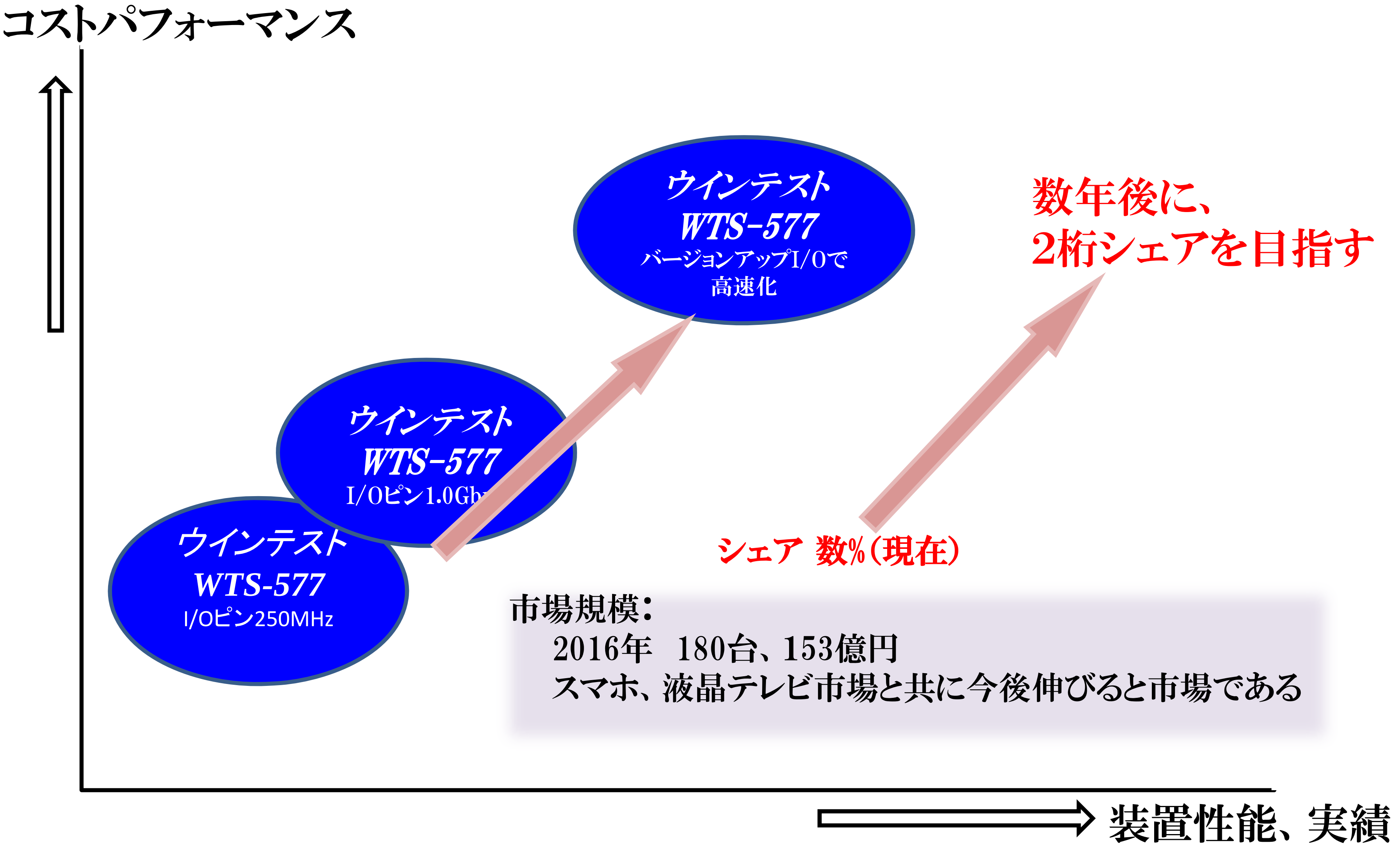
研究開発 ➡ 高速シリアル通信技術の量産導入へ

➡ 2018年、180台、約153億円の市場規模
シェア、3%から10%を目指す

➡ 開発の遅れをキャッチアップ、今期は攻めへ転じる

市場規模予想出展：富士キメラ総研

当社の業界におけるポジション(2/4)



当社の業界におけるポジション(3/4)

– 独自の検査技術を24年以上にわたり開発

イメージセンサー

得意分野： ハイ・エンドの一眼レフ、衛星用センサー市場維持

課題： IoT、スマホ、ゲーム用センサーなどの市場開拓

液晶・有機ELディスプレイ検査

世界の製造装置マーケットは、中国の旺盛な設備投資で大幅に伸長

課題： アレイテスト分野で中国の開発・販売・業務提携先を開拓

新分野の開発： 低価格汎用ロジックIC向け検査装置を開発

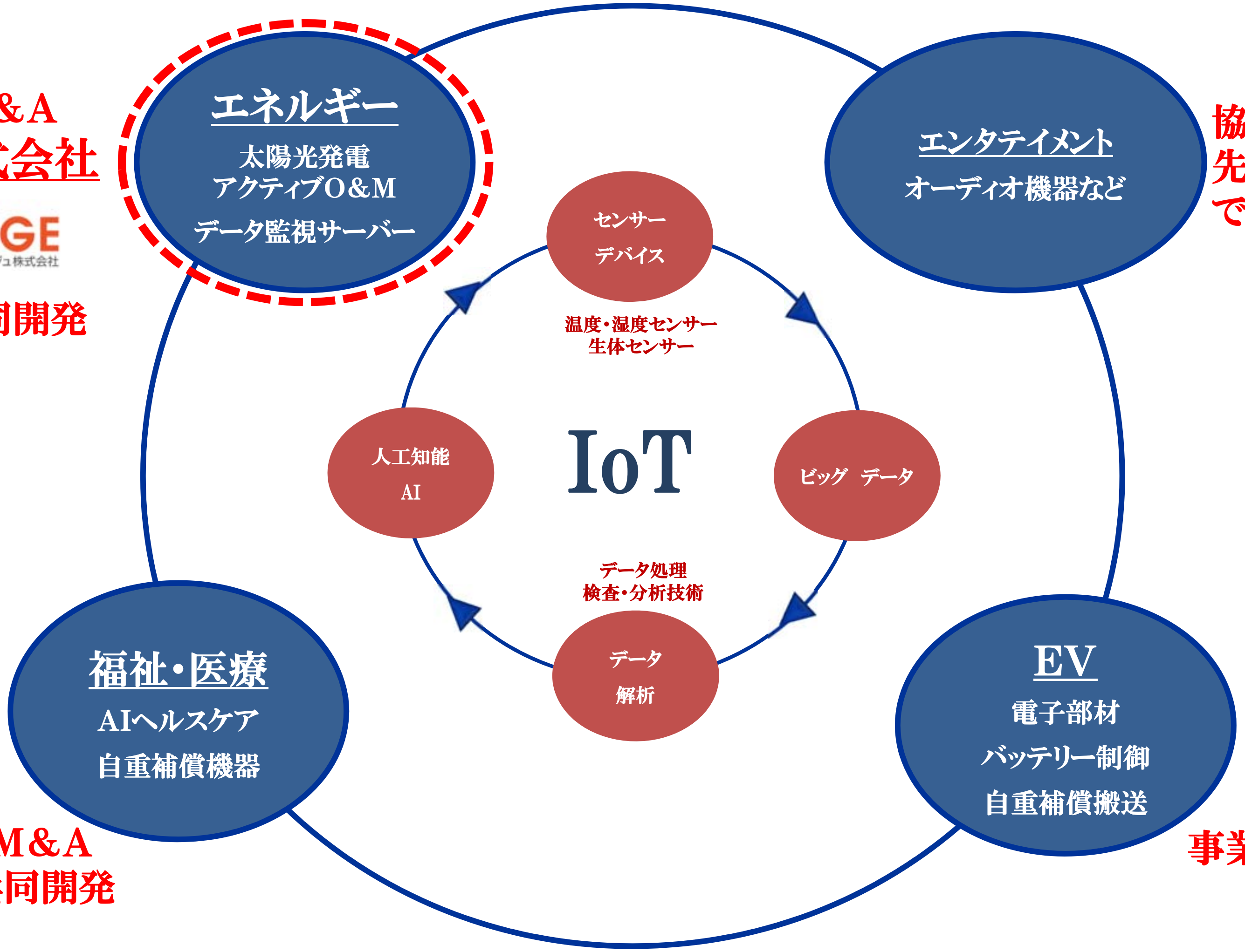
今期中に開発を完了して、受注、売上

当社の業界におけるポジション(4/4)

Wintest Corp.
ウインテスト株式会社

M&Aで、「新エネルギー関連事業」へ参入を果たした

研究投資とM＆A
オランジュ株式会社
O-RANGE オランジュ株式会社
茨城大学と共同開発



協業とM＆A
先行企業との協業
で新製品を開発中

事業投資とM＆A
慶応大学と共同開発

事業投資とM＆A

2017年7月期決算

2017年7月期決算ハイライト

売上・利益とも前年同期を上回る

【要因】

①納入先顧客の検査機能高度化要求への対応を完了し、
納入済み装置の売上を計上

②製品コストの改善による売上総利益の増加

M&Aで事業領域に新エネルギー関連事業を追加

☞ 太陽光発電所のO&M(保守点検・整備・保証管理)企業
オランジュ㈱(旧:㈱りょうしんメンテナンスサービス)を
完全子会社化 (売上連結は2018年7月期から)

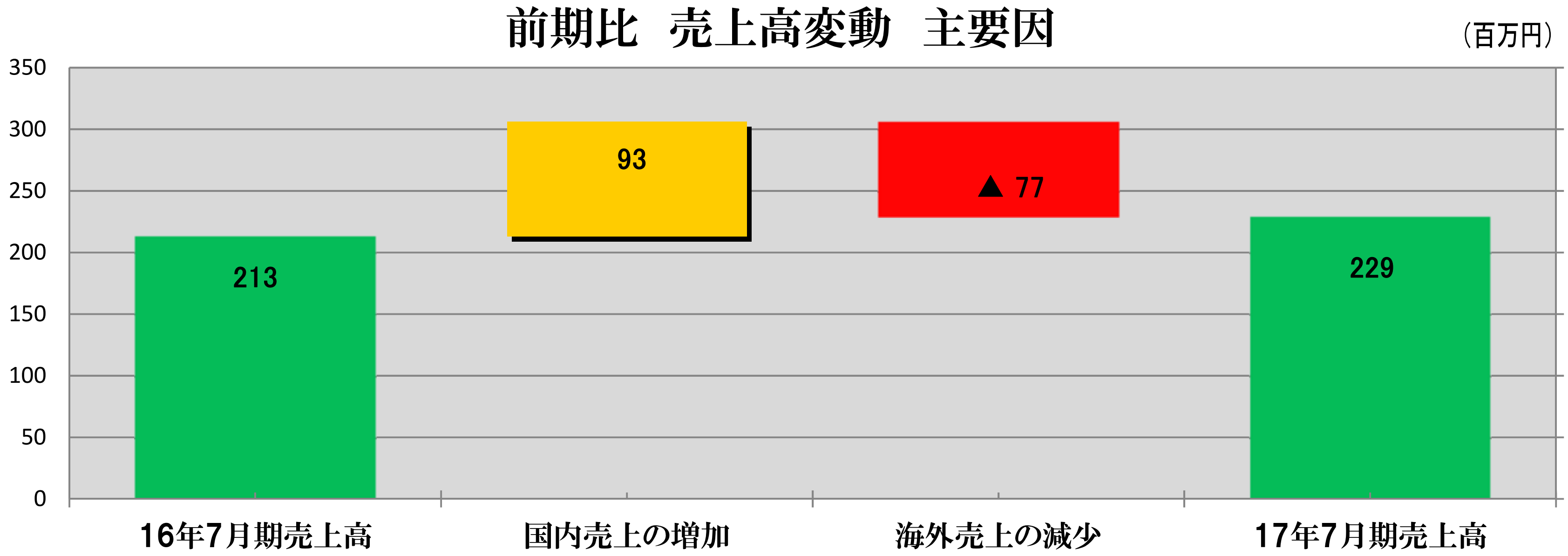
☞モニタリングシステムの開発と販売促進を加速するなど
強力なシナジー効果を見込む

2017年7月期 決算サマリ（単体）

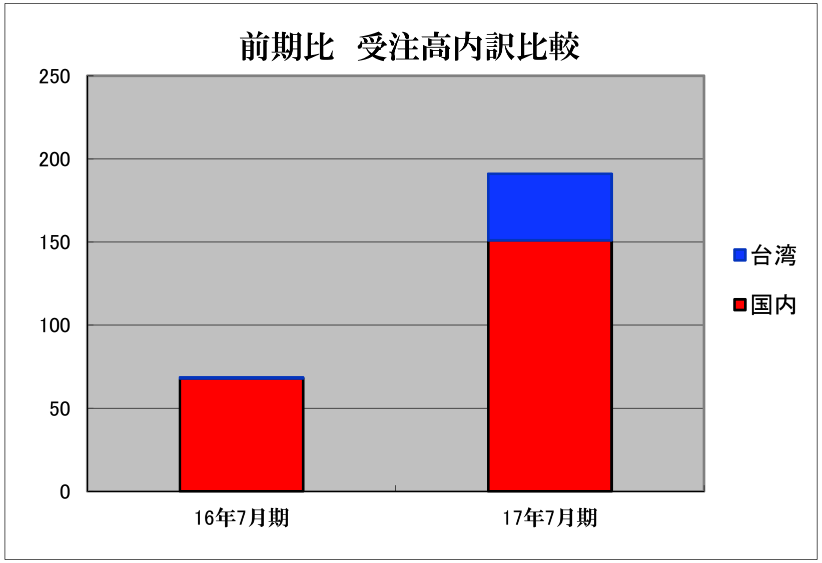
（百万円）

	16/7月期	17/ 7月期	増減額	増減率	主な増減理由
売上高	213	229	16	7.7%	国内向け大口売上、海外向けは顧客要求仕様を満たし売上
売上総利益	78	118	39	50.8%	利益率のよい装置売上が貢献
売上総利益率	36.7%	51.4%	―	-	同上
販管費	292	304	12	4.4%	増資による資本金増加で法人事業税等で8.2百万円、M&A関連費用で5.9百万円増
営業利益	△ 213	△ 187	26	―	売上総利益増加により改善
経常利益	△ 222	△ 183	39	―	外貨預金の為替差益4.6百万円
当期純利益	△ 226	△ 205	21	―	固定資産の減損24百万円計上

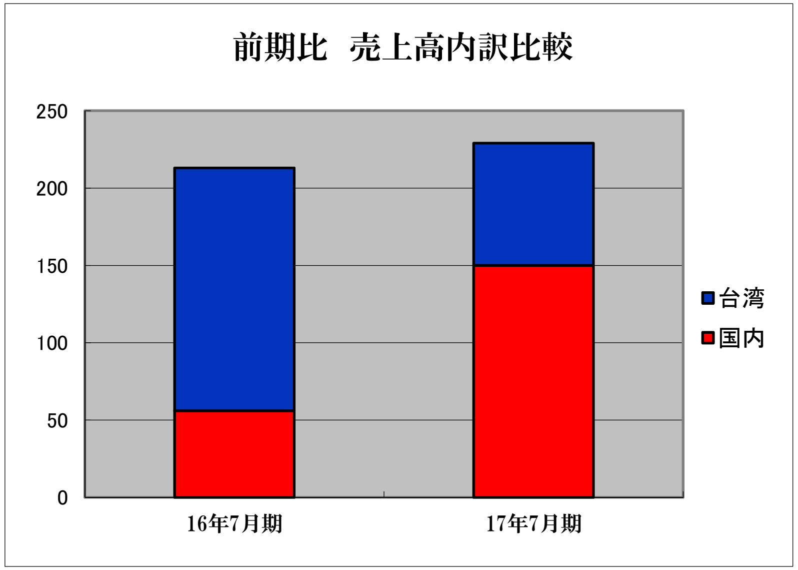
売上高の変動分析(単体)



前期比　売上高変動　主要因
(百万円)
350
300
250
200
150
100
50
0
213
93
▲ 77
229
16年7月期売上高
国内売上の増加
海外売上の減少
17年7月期売上高



前期比　受注高内訳比較
250
200
150
100
50
0
16年7月期
17年7月期
台湾
国内



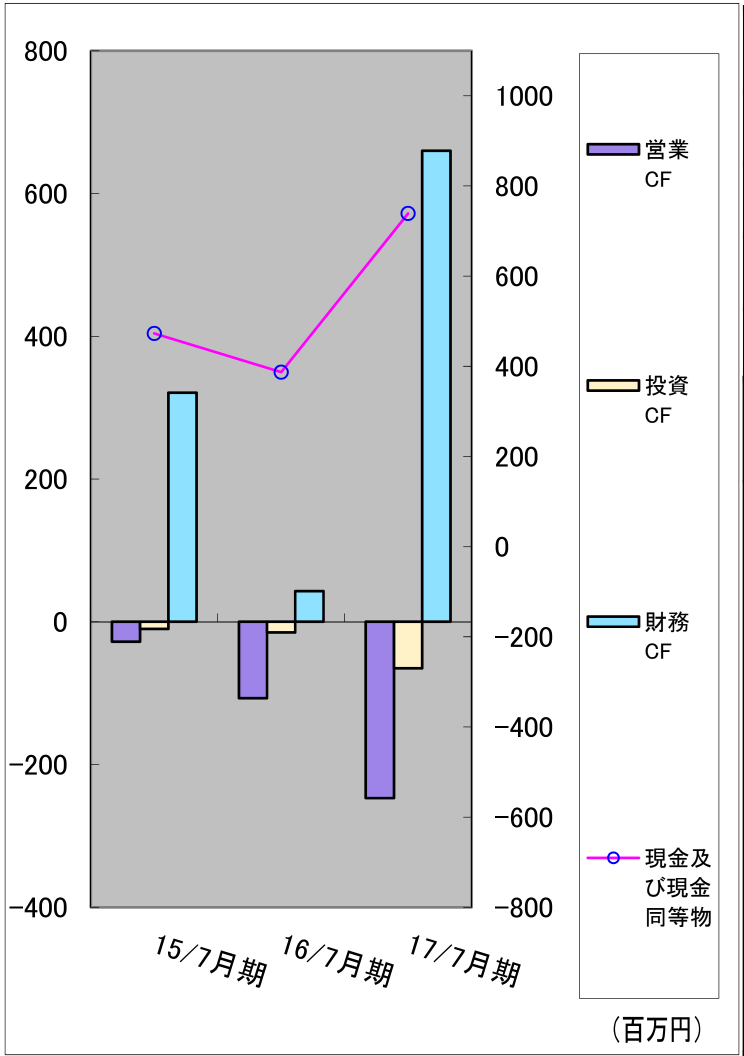
前期比　売上高内訳比較
250
200
150
100
50
0
16年7月期
17年7月期
台湾
国内

2017年7月期 B/Sサマリ(連結)

(百万円)

		16/7期末	17/7期末	増減額	主な内訳
資産内訳	現金及び預金	−	786	−	単体739百万円、子会社46百万円、単体は赤字であったが増資で増加
	受取手形及び売掛金	−	139	−	単体133百万円、子会社6百万円
	仕掛品	−	89	−	単体84百万円、子会社5百万円
	その他流動資産	−	81	−	うち単体の前渡金が55百万円占める
	固定資産	−	151	−	単体はのれん80百万円と投資有価証券36百万円が大、子会社は19百万円
資産合計		−	1,248	−	単体1,215百万円、子会社84百万円から相殺消去項目50百万円を差引く
負債・純資産内訳	買掛金	−	11	−	単体3百万円、子会社8百万円
	1年以内返済長期借入	−	18	−	単体18百万円
	その他流動負債	−	58	−	単体37百万円、子会社20百万円
	固定負債	−	30	−	単体25百万円、子会社4百万円
	純資産	−	1,129	−	単体1,130百万円、子会社49百万円から相殺消去項目50百万円差引く
負債・純資産合計		−	1,248	−	
自己資本比率		−	90.5%	−	高い比率を維持

2017年7月期 CF計算書サマリ(単体)



	16/7月期	17/7月期
営業ＣＦ	△107	△247
投資ＣＦ	△15	△65
財務ＣＦ	43	660
現金・現金同等物	387	739

キャッシュ・フロー推移

- 営業ＣＦ

税前純損失	△204
前渡金増	△28
売上債権増	△116
たな卸資産減	55
固定資産減損	24

- 投資ＣＦ

子会社株式/有価証券取得	△151
定期預金払戻	100

- 財務ＣＦ

新株予約権行使	678
長期借入金返済	△18

2018年7月期　環境見通し

● 半導体検査装置需要は中国へシフト、太陽光発電所のO&Mサービス需要は拡大

外部環境	・イメージセンサー スマートフォン用は、高画素化と複眼化で量の拡大中、デジカメ用はそろそろ下げ止まりの模様 ・LCD・有機ELディスプレイ 新興市場のLCDパネル需要増加、有機ELパネルの製造装置導入が進みアレイ検査引合い復活 ・LCDドライバIC LCD・有機EL パネルの需要増加に伴い出荷数量増加、装置投資も継続 ・新エネルギー関連 改正FIT法により、太陽光電所のメンテナンスが義務化され、O&Mサービス需要が拡大	
個別環境	イメージセンサー	◆スマートフォン用を中心に、新たな需要に対応した装置の開発
	LCD・有機EL ディスプレイ	◆海外で立ち上がる有機ELディスプレイ向けアレイ検査需要に対応
	LCDドライバーIC	◆納入装置の追加開発完了、遅れていた受注獲得へ営業活動を加速
	新エネルギー関連	◆「日本の O&M プロバイダートップ 10」に選出された信頼と実績で受注を獲得

2018年7月期　通期連結業績予想

当社グループの2018年7月期業績予想につきましては、

既存、新規事業の業績見通しの算定が難しく、

また、今後見込んでいるM&A及び新規事業展開へ

複数社と協議中であるなど、不確定な要因が多いため、

この見通しが立ち次第、速やかに公表をいたします。

新規事業計画

IoTを新事業戦略の中核に置く

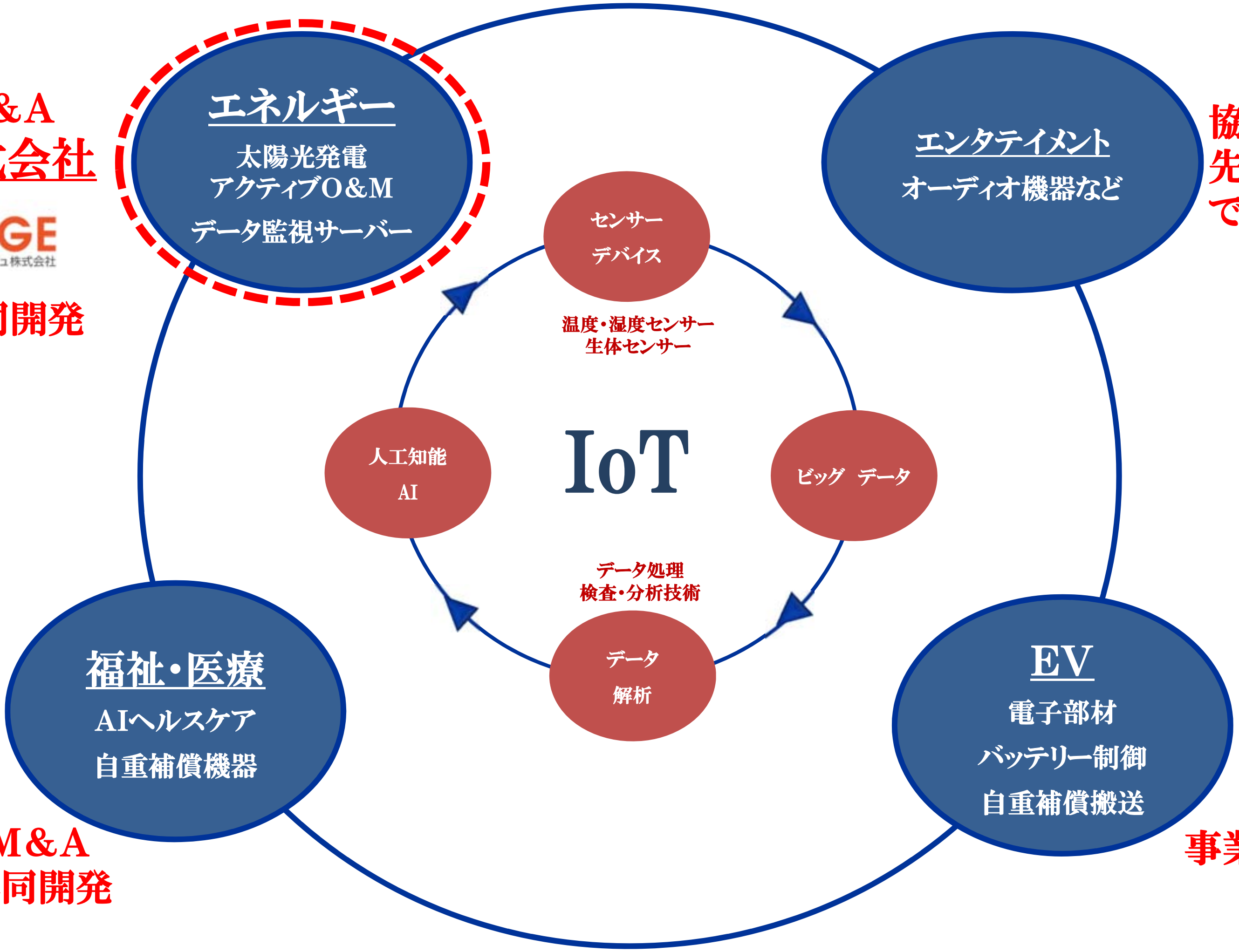
Wintest Corp.
ウインテスト株式会社

M&Aで、「新エネルギー関連事業」へ参入を果たした

研究投資とM&A
オランジュ株式会社

O-RANGE
オランジュ株式会社

茨城大学と共同開発



協業とM&A
先行企業との協業
で新製品を開発中

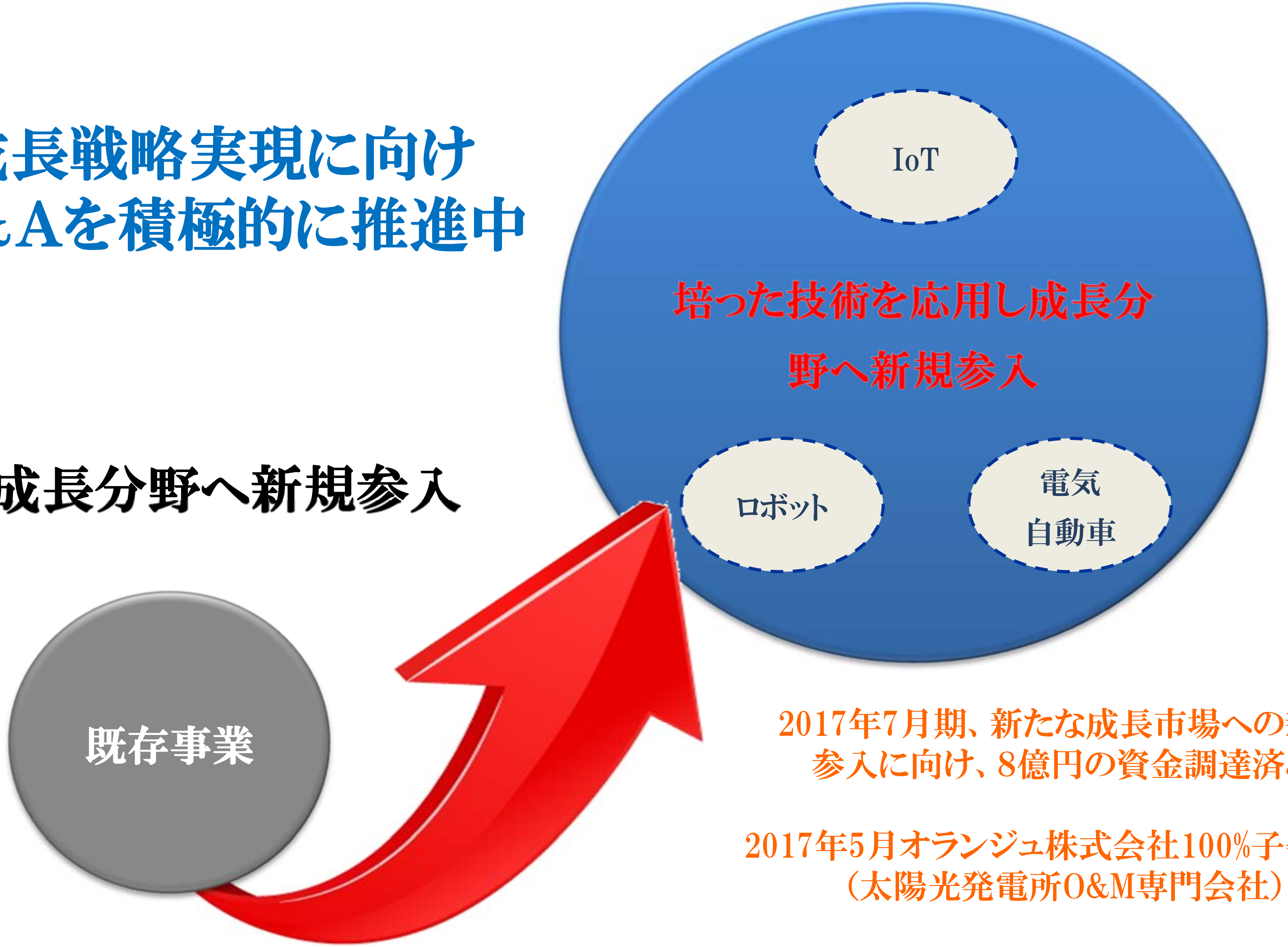
事業投資とM&A
慶応大学と共同開発

事業投資とM&A

新規事業成長戦略イメージ

成長戦略実現に向け
M&Aを積極的に推進中

成長分野へ新規参入



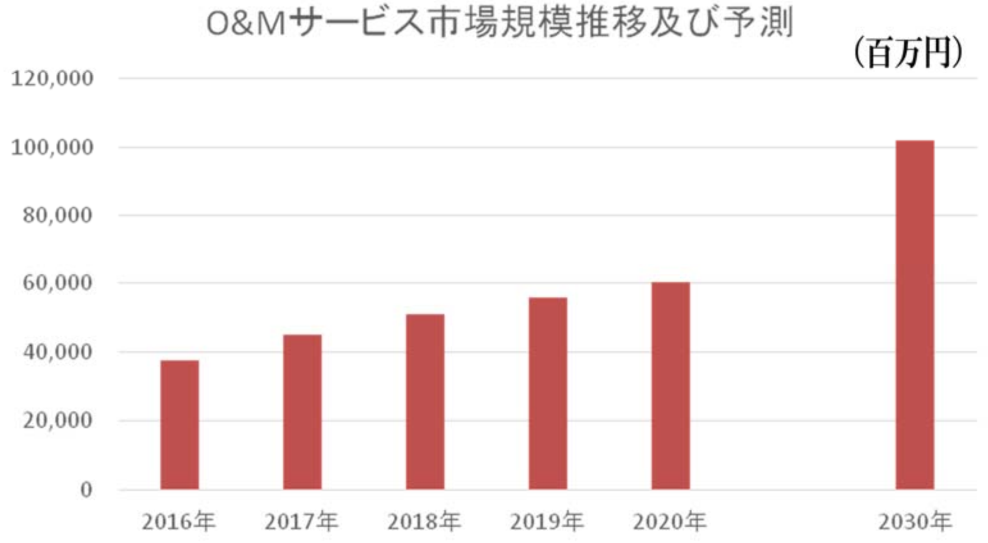
2017年7月期、新たな成長市場への新規参入に向け、8億円の資金調達済み

2017年5月オランジュ株式会社100%子会社化
（太陽光発電所O&M専門会社）

新たなIoTソリューションをO&M市場へ

- O&Mサービスの先駆者であるオランジュ
- 茨城大学と共同開発中の発電効率改善ソリューション
- 当社の検査・センシング・データ処理技術
- これらを融合したモニタリングシステムを開発中

Wintest Corp.　茨城大学 Ibaraki University　O-RANGE オランジュ株式会社



出典：富士キメラ総研

イノベーションを加速する戦略的産学連携

Wintest Corp.
ウインテスト株式会社

Keio University
1858
CALAMVS GLADIO FORTIOR

慶應義塾大学

「自重補償機構」技術を用いたロボットアーム型重量キャンセル搬送装置の試作機を完成。

茨城大学
Ibaraki University

茨城大学

IoT 技術を活用した太陽光パネルの発電効率向上ソリューションを共同開発。

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

大阪大学

広域センシングのノイズ低減手法を確立し、IoT センサーの高精度化を実現。

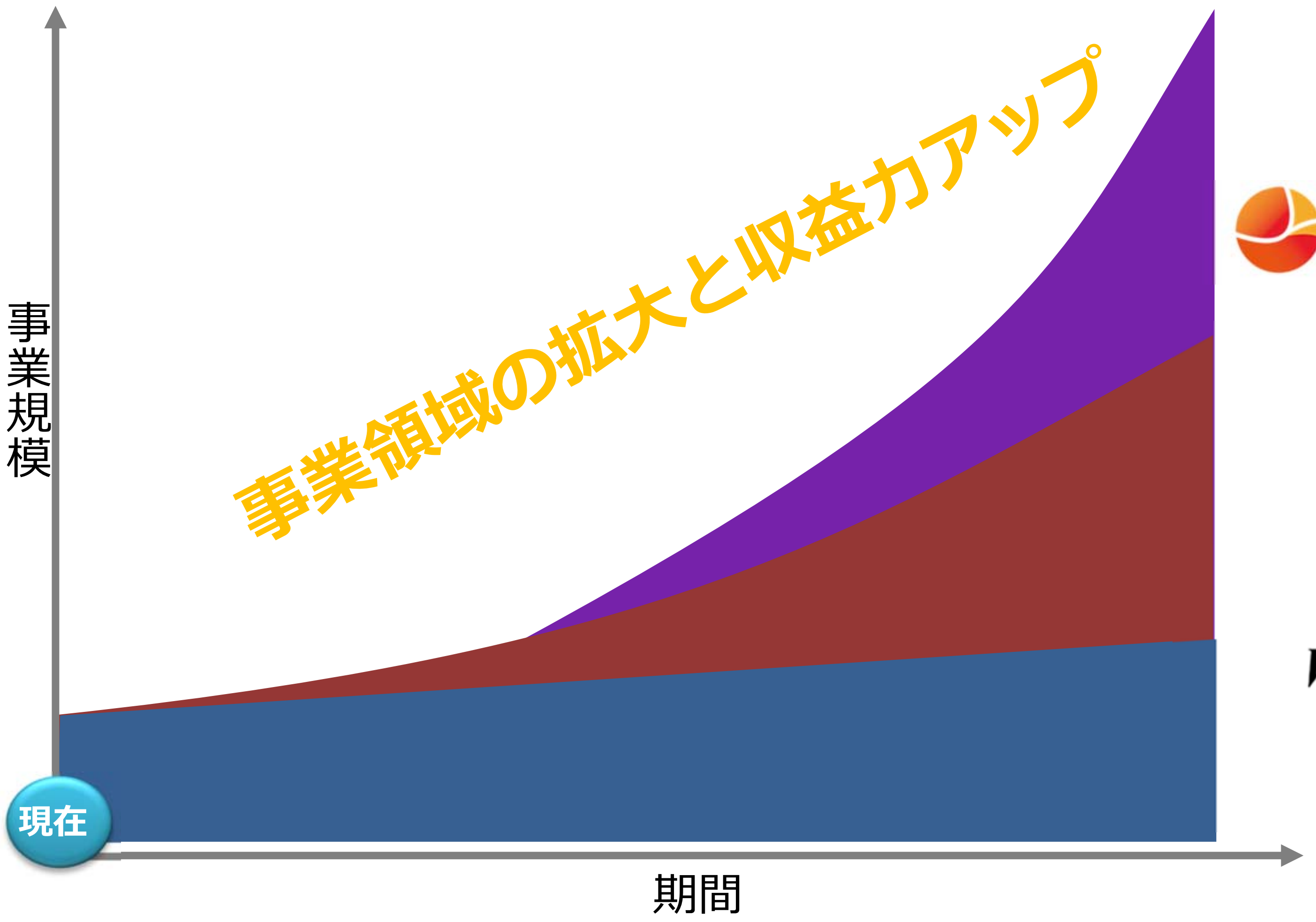
IDEC YOKOHAMA
公益財団法人
横浜企業経営支援財団

幅広い新技術リサーチ・協業支援およびコンサルティング協力。

UNIVERSITY OF TOYAMA
富山大学

オーディオ信号の音場適正化技術。

事業展開イメージ詳細



O-RANGE
オランジュ株式会社

Wintest Corp.

既存事業の充実

アジア圏のニーズに合った検査装置開発。

事業領域拡大

介護福祉ロボット、太陽光発電モニタ、音響機器、計測機器等。

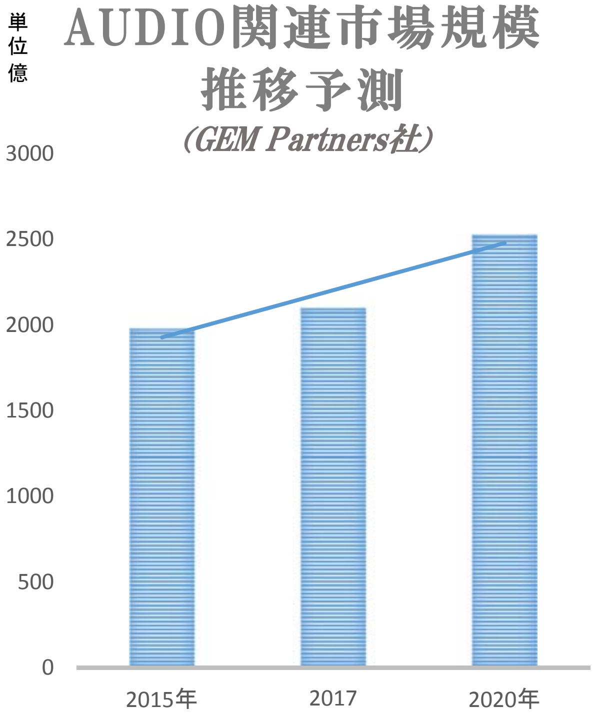
新規事業領域

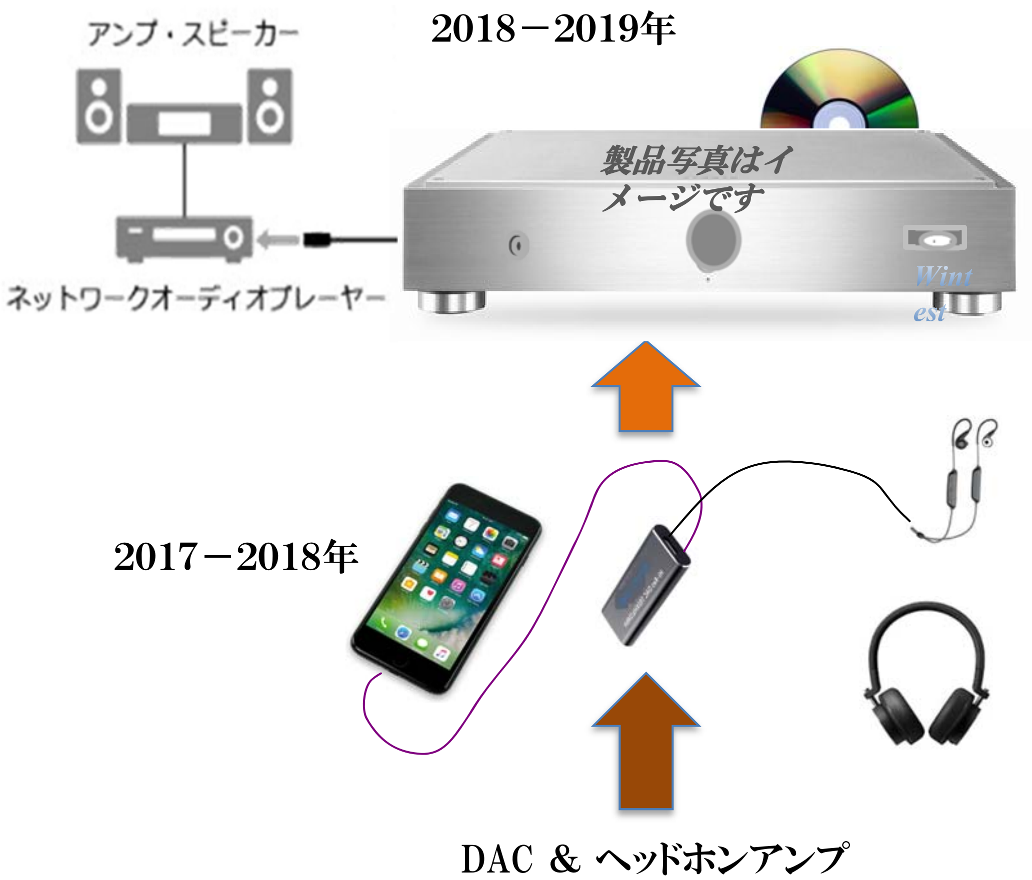
M&Aで新たに得た人材・技術を生かし成長分野へ参入。

既存技術からの製品展開

車載アラーム、カーオーディィオ機器

2017年2100億円規模市場となるオーディィオ製品へ進出を計画





産業用の検査技術を生かし製品を開発

免責事項

- 本資料に記載された意見、予測やビジョンなどは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
- 本資料の内容は事前の通知なく変更されることがあります。
  また、本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成したものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。
- 様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。
- この将来数値に全面的に依拠して投資判断を行うことは差し控えていただきますようお願い申し上げます。

ウインテスト株式会社

ＴＥＬ：０４５-３１７-７８８８